

オーケストラ・アンサンブル金沢

# 2020年の瀬 特別コンサート



2020年12月19日(土)

開演 15:00 (開場 14:00)

会場：ホクト文化ホール 大ホール  
(長野県県民文化会館)

入場料：一般 3,000円  
【全席指定】高校生以下 1,000円

## 🔔 プログラム

W・A・モーツァルト：オペラ「フィガロの結婚」より 序曲  
R・シュトラウス：オーボエ協奏曲 ニ長調 AV144  
G・ビゼー：オペラ演奏会形式「カルメン」(抜粋)



指揮 柳澤 寿男



## 出演

オーボエ：上原 朋子  
ソプラノ：盛田 麻央  
メゾソプラノ：杉山 由紀  
テノール：村上 敏明  
バリトン：近藤 圭  
管 弦 楽：オーケストラ・アンサンブル金沢

## プレイガイド

ホクト文化ホール (長野県県民文化会館)

チケット専用ダイヤル TEL 026-217-0003

※やむを得ぬ事情により、公演内容に変更が生じる場合がございますが、出演者、曲目変更などのために払い戻しはいたしませんので予めご了承ください。

※未就学児のご入場は事前にお問い合わせください。

※駐車場に限りがございますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため館内でのマスク着用をお願いいたします。

※咳や咽頭痛などの風邪症状のある方、体温が37.5℃以上ある方、感染症陽性者と濃厚接触のあった方、過去2週間以内に感染拡大地域・国への訪問歴がある方のご入場をお断りさせていただきます。

主催：一般財団法人長野県文化振興事業団・公益財団法人日本交響楽振興財団

共催：信濃毎日新聞社・長野県・長野県教育委員会

協賛：ホクト株式会社

後援：一般社団法人長野音協・SBC信越放送・NBS長野放送・TSBテレビ信州・abn長野朝日放送

【公演に関するお問い合わせ】ホクト文化ホール (長野県県民文化会館) TEL 026-226-0008



競輪の補助事業

この演奏会は、競輪の補助を受けて開催します。

<https://jka-cycle.jp>





## 柳澤 寿男〈指揮〉

2005-2007年、マケドニア旧ユーゴ国立歌劇場首席指揮者。2007年、国連コソボ暫定行政ミッション下のコソボフィル首席指揮者に就任。ベオグラード国立歌劇場、セルビア放送響、セルビアニーシュ響、サラエボフィル、アルバニア放送響、イスタンブール国立歌劇場、サンクトペテルブルク響、ブラハ響、フラデツ・クラロヴェ響、西バヘミア響などに客演。2007年、バルカン半島、特に旧ユーゴの民族共栄を願ってバルカン室内管弦楽団を設立。ウィーン、ニューヨーク、ジュネーブなど世界各地でコンサートを行っている。2019年、コソボ大統領勲章（文化功労賞）を叙勲される。国内では、アンサンブル金沢をはじめ、新日本フィル、日本フィル、東京フィル、東京響、東京都響、シティフィル、札幌響、仙台フィル、群馬響、名古屋フィル、京都市響、大阪フィル、日本センチュリー響、関西フィル、九州響などに客演。現在、バルカン室内管弦楽団音楽監督、コソボフィル首席指揮者、ベオグラード・シンフォニエッタ名誉首席指揮者、京都フィルハーモニー室内合奏団ミュージックパートナー、坂本龍一氏が音楽監督を務める東北ユースオーケストラ指揮者。著書に「バルカンから響け！ 歡喜の歌（音遊舎）」。



## 上原 朋子〈オーボエ〉

佐久市立浅岡中学校吹奏楽部にてオーボエを始め、小諸高校音楽科を卒業。東京藝術大学音楽学部を経て渡独、カールスルーエ州立音楽大学に編入し、同大学学部課程を最優秀の成績で卒業する。ルツェルン音楽大学修士課程（スイス）を修了後、2018年夏に帰国し関東を中心にフリーランスとしての活動をスタートする。第88回日本音楽コンクール第2位及び岩谷賞（聴衆賞）、第10回日本ジュニア管打楽器コンクール1位、第15回キエリ国際音楽コンクール最高位（イタリア）、2018エドウィン・フィッシャーコンクール奨励賞（スイス）等受賞多数。2019セイジ・オザワ松本フェスティバルにて小澤征爾音楽塾に参加。イスラエル・フィルハーモニー、都内オーケストラに客演するなどオーケストラでの活動にも積極的に取り組んでいる。また、長野市芸術館にてリサイタルを開催。佐久室内オーケストラとコンチェルトを共演するなど長野県内の活動の幅も広がっている。これまでにオーボエを古川美登里、田淵哲也、河野剛、小畑謙昭、吉井瑞穂、トーマス・インデアミュール、イヴァン・ポディオエーモフの各氏に師事。モーリス・プールのマスタークラスを受講し多大な影響を受ける。



## 盛田 麻央〈ソプラノ〉

国立音楽大学卒業、同大学院フランス歌曲コース修了。二期会オペラ研修所修了時に優秀賞及び奨励賞受賞。パリ・エコール・ノルマル音楽院、パリ国立高等音楽院修士課程を最優秀の成績で修了。第17回日仏声楽コンクール第1位及び竹村賞受賞、第12回東京音楽コンクール第2位、第8回エレーナ・オプラスツォヴァ国際ヤングオペラコンクール第3位。二期会創立60周年記念『ドン・ジョヴァンニ』ツェルリーナ、同『フィガロの結婚』パルパリーナ、調布市民オペラ『椿姫』ヴィオレッタ、首都オペラ『トゥーランドット』リユーの他、小澤征爾音楽塾『子どもと魔法』、日生劇場『ルサルカ』『魔笛』等出演。2020年東京文化会館オペラBOX『アマールと夜の訪問者』アマール役で好評を博す。ヘンデル『メサイア』、モーツァルト『レクイエム』、ブラームス『ドイツ・レクイエム』、メンデルスゾーン『真夏の夜の夢』等のコンサートソリストとしても活躍している。二期会会員。



## 杉山 由紀〈メゾ・ソプラノ〉

武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。二期会オペラ研修所修了時に最優秀賞・川崎静子賞・所長賞受賞。ウィーン国際音楽セミナー受講、ディプロマ取得。全日本学生音楽コンクール第1位、日光国際音楽祭声楽コンクール大賞。2015年『ヘンゼルとグレーテル』ヘンゼルでオペラデビュー後、二期会『ジュリオ・チェザレ』タイトルロール、同『ナクソス島のアリアドネ』（指揮：S.ヤング）作曲家、同『アルチーナ』ルジエロ等立て続けに出演。日生劇場『コジ・ファン・トゥッテ』では、急遽ドラベッラ役で出演し、高い評価を得た。2019年には二期会『サロメ』（指揮：S.ヴァイグレ）ヘロディアスの小姓、2020年びわ湖ホールプロデュースオペラ『神々の黄昏』ヴェルグンデで出演する等、今後益々の活躍が期待されている。また、コンサートでも『第九』をはじめ、バッハ『短調ミサ』、メンデルスゾーン『エア』等ソリストも務める。二期会会員。



## 村上 敏明〈テノール〉

国立音楽大学卒業。第9回マダム・パタフライ世界コンクールグランプリ優勝、第40回日伊声楽コンクール第1位、第35回イタリア声楽コンクール・シエナ大賞受賞、第15回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。藤原歌劇団、新国立劇場を中心に『椿姫』『仮面舞踏会』『トスカ』『ルチア』『愛の妙薬』『ラ・ボエーム』『リゴレット』をはじめ多数のオペラで主演を務めるほか、各種コンサートやテレビ、ラジオへの出演、各地でのアウトリーチ等クラシック音楽の普及活動にも積極的に取り組んでいる。日本を代表するテノール歌手として、オペラ界を牽引している。藤原歌劇団員。東京都出身。



## 近藤 圭〈バリトン〉

国立音楽大学卒業、同大学院首席修了。新国立劇場オペラ研修所修了。ロームミュージックファンデーション奨学生としてドイツ・ハンブルクへ留学。ドイツを拠点として、ハイドン『四季』、オルフ『カルミナ・ブラーナ』等のほか、マーラー没後100年を記念した演奏会に『さすらう若人の歌』で出演。国内では、二期会『ナクソス島のアリアドネ』ハルレキン、新国立劇場『魔笛』パパゲーノ、小澤征爾音楽塾『カルメン』ダンカイロ、日生劇場『リア』フランス国王、同『ラ・ボエーム』ショナール、東京芸術劇場『ドン・ジョヴァンニ』マゼット、グランドオペラ共同制作『カルメン』モラレス等出演。2020年には新国立劇場『夏の夜の夢』ディミトリーアスで急遽出演、続けて同鑑賞教室京都公演『魔笛』パパゲーノでも出演し好評を博した。ヘンデル『メサイア』、ベートーヴェン『第九』等のコンサート・ソリストとしても活躍し、今最も注目を集めるバリトンである。長野県出身。二期会会員。

## オーケストラ・アンサンブル金沢

1988年、岩城宏之が創設音楽監督を務め、多くの外国人を含む40名からなる日本最初のプロの室内オーケストラとして石川県と金沢市が設立。金沢駅に隣接する石川県立音楽堂を本拠地とし、定期公演、海外公演など年間約100公演を行う。設立時よりコンポーザー・イン・レジデンス（現コンポーザー・オブ・ザ・イヤー）制を実施。ジュニアの指導、邦楽との共同制作など育成・普及活動にも積極的に取り組む。メジャーレーベルより90枚を超えるCDを発売。2007年より2018年3月まで、井上道義が音楽監督を務め、2018年9月よりマルク・ミンコフスキが芸術監督を務める。